

今日は6年生が矢野目地区の史跡フィールドワークを行いました。この暑さですから、熱中症予防のため「半袖で、マスクをはずして」と指導しましたが、拒否する子が一定数います。強制はしていませんが、健康を害してまで拒否する子どもの病的とも言える心の状態の方が心配です。現在、本校感染者はゼロです。ご家庭でも話題にしてください。(大人も・・・?)

☆☆矢野目小学校教育目標☆☆互いを大切に、笑顔で協働する子ども

令和6年度矢野目小学校 学校だより

# みんなの広場 2

笑顔があふれ、明日もまた来なくなる学校

2024.6.19 発行 No.37 文責 目黒 満

☆☆自ら学び、深く考えて行動する子ども☆☆心と体を鍛え、命を大切にする子ども

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

## 子育てのヒント Part 2

## ～6年間で身に付く力～

大切なわが子が、これからの長～い人生を「よりよく」＝「みんなから愛されながら」、笑顔で前向きに、他と協調し、自立して生きていくためにどう行動すればいいのか。親として、わが子に寄り添いながら上手にアドバイスして行くためには、小学校の6年間にどんな成長をするのかを理解しておくことが大切です。

程度は頭に入ってきます。

中・高学年になると、「ここで友だちと喧嘩したら2、3週間気まずいかも」など、**未来の予測**や、「2年生のときはこうだったな」と**過去の振り返り**もできるようになります。

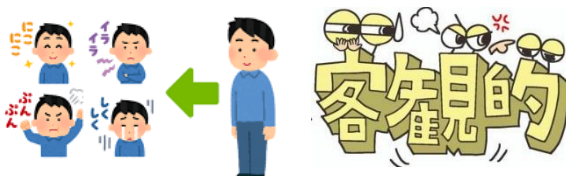
### ② 横のつながりを捉える力

～友人とのかかわり、調整・想像する力～

中・高学年になると、「この人は好きじゃない」という好き嫌いも出てくる一方で、**友だち関係を広い視野でとらえる**ことができるようになります。さらには、地理や歴史を学ぶ中で、遠い国に暮らす人や歴史上の人物にまで思いを馳せ、その人物の立場や心情などを**想像できる**ようにもなります。

### ③ Xタ認知～客観的にものごとを見る力～

高学年くらいになると、**客観的にものごとを見て、全体を総括的に捉え、その中の自分を見つめる**ことができるようになります。「自分って、こんなこと言ってるけどその割にはこうだな……」などと、自分をモニターすることができるようになります。



わが子がどの程度成長してきているのか、それを見極めながら、同時に、親自身も自分の感情をモニタリングしながら、子どもの声を受け止めて客観的にアドバイスしていけるといいですね。

次号 Part3では、子どものサポートやアドバイスの視点等についてお知らせします。

### ○ 大きな変化が起きる興味深い6年間



～セルフコントロール力～

子どもは、将来、**独り立ち・自立**をします。それは「一人で生きる」ということではなく、

「**他者と協力しながら自立した個人として生きていく**」ということ。そのためには「**自分の気持ちを相手に適切に伝える・相手の気持ちを正しく理解する・感情をコントロールする**」力が必要です。こうした力の獲得は幼児期から始まっていて、赤ちゃんのときのように**感情のままに泣いたり怒ったりする**のではなく、**幼児なりに、我慢したり主張したりすることを徐々に覚えていきます**。

さらに**小学生になると、集団の中で、自分をおさえたり、逆に自分らしさを発揮したり**といった場面が増えていく中で、**感情のコントロール力**を身につけていきます。

### ○ 6年間で身に付く三つの力

#### ① 時間を捉える力～過去や未来を考える～

幼児は「ママ、明日お出かけしよ」「昨日お散歩楽しかったね」ぐらいで、スケジュールを気にしませんが、**1年生になれば1週間**